

PARC DVD

国際理解・国際協力・環境教育、消費者教育に役立つDVDです。  
マスコミが伝えない世界各国の人びとの声、社会のしくみについてお伝えします。



食と農がつむぐ自治と民主主義

# 希望の給食

2022.10  
RELEASE!

子どもたちが学校で毎日のように食べる給食。  
給食は、子どもたちの健康と成長を担うだけでなく、地域の食と農を結びつけます。  
どのような食材を使うのか、費用負担をどうするか、誰に提供するのか。  
給食をめぐる選択は、どのような地域を実現するのか、という「自治」の実践と切り離せません。  
日本と韓国の事例から、地域の未来を形作る給食のあり方を考えます。



事例紹介 千葉県いすみ市／長野県松川町／東京都武蔵野市／韓国ファソン市

企画・監修：内田聖子／小口広太／白石孝 監督・撮影・編集：香月正夫(株式会社セミコ) 制作：特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター(PARC)  
2022年/DVDまたはオンラインでストリーミング視聴/カラー 42分





子どもたちの健康と成長を担い、地域の食と農をつなぐ給食。  
そこに私たちはどのような未来を描き、実現していくのか。



地元産有機米100%の給食を短期間で実現した千葉県いすみ市。地域の生物多様性をどうやって未来に残すか、という課題を行政と市民がともに議論する中で、子どもたちの食と地域興しが結びついたという。



都市部にありながら、生産者との顔の見える関係を重視した手作り給食で長年知られる東京都武蔵野市。民間委託ではない財団方式というユニークな運営形態のもとで、こだわりの食材と調理をいまに受け継いでいる。



果樹の町として知られる長野県松川町。遊休農地に悩む行政、地場産野菜を求めている栄養士、有機農業に取り組み始めていた生産者らが協力し合い、地元産有機の米・野菜を自校式調理で子どもたちに届けている。



給食の有機化と無償化が一体になって進む隣国・韓国。すべての人の食の基本権の保障という課題を市民参加で解決するフードガバナンスの仕組みが作られ、食をめぐる取り組みは学校給食を超えて公共給食へと広がっている。

日本全国の小中学校で提供されている学校給食は、子どもたちの健康と成長を支えるだけでなく、食について学ぶ生きた教材の役割も担っています。近年では、給食への地場農産物や有機農産物の導入が注目を集めています。

しかし、給食が実現すべき価値は「食の安全」だけにとどまりません。年間を通じて大勢の子どもたちが食べる給食には、どんな食材を誰が作り、どう届けるか、調

理をどう行うか、といった仕組みづくりが欠かせず、給食をめぐる選択は地域のあり方をも左右します。給食を見つめ直すことは、食への権利、地域の発展、自治体による自治といった課題に挑戦していくことでもあるのです。

実際、日本の各地の自治体では、給食を軸にした地域の再生が始まっています。生産者の育成や自然環境の保全、子どもの貧困といった課題への取り組みの中

で、給食の役割が改めて注目されているのです。さらに隣国・韓国では、学校給食の改善を求める市民運動をきっかけに、有機食材を用いた給食を無償で実施する「親環境無償給食」がすでに定着しつつあります。日本と韓国の自治体での取り組みへの取材を通じて、地域の未来を形作る給食のあり方を考えます。



## 希望の給食 一食と農がつむぐ自治と民主主義

2022年/DVDまたはオンラインでストリーミング視聴/カラー42分

一般価格 4,500円+税 (図書館価格:15,000円+税)

上映会を開きませんか？

全国各地での上映会開催を呼びかけています。地域やグループでぜひ企画ください。

- 事前にDVDをご購入ください。●DVD代金と別に、上映料(1回1万円+税)×上映回数がかかります。
- 詳しくはPARCのウェブサイトをご覧ください。●オンライン上映会をご希望の方は事務局にご相談ください。

詳細はQRコード



DVDのご購入・上映会開催申込み・お問い合わせは

